

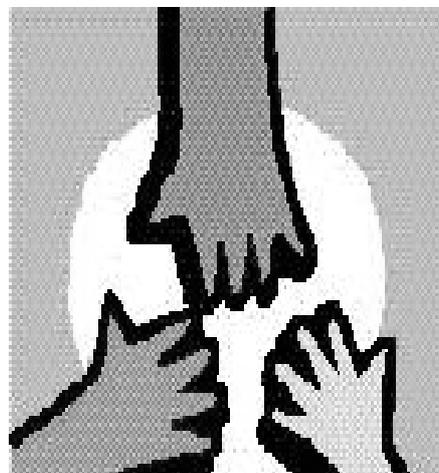


平和を求め一戦争時代を生きた方のお話②一

日本は日清戦争から日本国憲法施行の 1947 年まで 53 年間 4 回戦争しました。 憲法施行後 60 年間戦争をしていません。 憲法 9 条のある意味は大きいのです。

川島にお住まいの G さんは、家族でお父様が事業している満洲に転居し、中国語が話せるようになりました。敗戦後、日本人引き揚げに尽力した軍医のご主人を手伝いました。

- **家族で満洲へ転居** 父は満洲で、公共事業にかかる人の手配を行う事業をし、成功していた。夏は満洲、冬は横浜という暮らし。敗戦 1 年前空襲が激しくなり、横浜から横須賀へ連なる地域の家を防災のため壊すことが決定された。母は、私・兄・妹二人・弟が疎開で離れ離れになるより、全員で満洲に行くことを選んだ。父には満洲に看護学校を建築する希望があり、私は中国語を覚え現地の人と親しくなるため、満洲の女学校に入った。
- **奉天に下った軍医隊の世話** 敗戦になって、5 万人の日本軍が奉天に南下し、軍医隊の住居の確保が必要だった。父は小学校に軍人を、中学には傷病兵を入居させた。日本軍に食料はなく、父は所持金を食料に代え軍医隊を養っていた。その会合を密告され、父はソ連の G K U に連れていかれ、ソ連連行の恐れがあり、家族は急いで日本に引き揚げることにした。
- **食料の調達** 家族は日本に帰ったが、後に結婚する軍医が日本人引き揚げに力を注いでいたので、中国語の話せる私は同志として手伝った。夫は、発疹チフスでやがて亡くなるだろう避難してきた日本人の住所と名前を記録し、後に厚生省に送った。病院には食料と燃料がなく、中国共産党軍は医師が必要。夫は、食料と燃料の交換に、自分が医師として中共軍に出向くことで食料と燃料を確保。
- **日本への引き上げ** 夫が戦犯として挙がっていることがわかり、日本に引き揚げることを決意。妊娠していた。日本への帰国船に乗る 1 週間前、子を中絶し、帰路につき、佐世保港に到着した。満洲で死亡・帰れなかった人のことを思うと辛い。



道路特定財源と嵐山町 暫定税率の復活は NO!!

H20 年度一般会計予算(56 億 8 千 2 百万)の道路特定財源暫定税率上乗せ分の影響。

収入で、道路特定財源を含むもの	予算額	暫定税率上乗せ影響分
地方道路譲与税	3000 万円	461 万 6 千円
自動車重量譲与税	8300 万円	5006 万 4 千円
自動車取得税	9600 万円	3840 万円
まちづくり交付金	2 億 7800 万円	1951 万 + α
合計	4 億 8500 万円	1 億 1259 万 + α

- ★ まちづくり交付金事業は、有利な国の補助金として、多くの自治体が利用しています。
- ★ 学校給食センターや公民館改修に活用予定。その経費が地区計画の 29% 以内になるように道路整備などを計画する

ため町全体の事業の優先順位が狂ってきます。必要事業に適正に税金が使われる方法を。

※国のまちづくり交付金に道路特定財源が入っていますが、市町村には実態がわかりません